福岡ひびき経営大学

地元中小企業の発展と利益向上、ならびに地元経済の活性化に少しでもお役に立ち、応援したいとの思いで昭和60年10月に発足しました。

当金庫とのお取引の有無にかかわらず、すべての企業経営者、後継者、従業員およびその関係の方々を対象としており、平成30年度は統一テーマを「企業成長のための働き方改革」とし、4回の講義を行いました。

第34期第3回まつり起業祭協賛特別講演会の講師として、未来工業株式会社　山田雅裕氏をお迎えし、「日本一社員が幸せな会社に学ぶマネジメント術」について講演いただきました。

福岡ひびき経営大学　第34期講座

開催日時・場所	講　座	講　師
第1回講義 平成30年6月22日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「TOTOの働き方改革」	TOTO 株式会社 代表取締役会長 張本　邦雄 氏
第2回講義 平成30年9月5日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「株式会社タカギの沿革」	株式会社 タカギ 代表取締役会長 髙城　寿雄 氏
第3回講義 平成30年11月15日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「日本一社員が幸せな会社に学ぶマネジメント術」	未来工業 株式会社 代表取締役社長 山田　雅裕 氏
第4回講義 平成31年2月7日 午後1時30分より 当金庫大ホール	講演テーマ 「モノより人に投資する人財育成は私の使命」	株式会社 やずや 代表取締役会長 矢頭 美世子 氏

福岡ひびき経営者賞

この表彰制度は、金庫創立70周年事業の一環として創設された「はっしん経営者賞」が源流となっており、「福岡ひびき経営者賞」として今回で25回目の開催となりました。

地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的とし、「技術革新・商品開発部門」「販売・サービス部門」「人事・労務管理部門」「地域社会貢献部門」「ソーシャルビジネス部門」の5つの部門において優れた成果を上げた中小企業の経営者を顕彰しています。これまでに126名の方々を表彰いたしました。

第25回 福岡ひびき経営者賞　受賞者

●技術革新・商品開発部門

●浦野醤油醸造元　代表者　浦野　惇美 氏
（豊前支店）

●販売・サービス部門

●株式会社　タカハシ　代表取締役　髙橋　一郎 氏
（原町支店）

●人事・労務管理部門

●大國段ボール工業　株式会社　代表取締役　寺澤　一光 氏
（行橋支店）

●地域社会貢献部門

●有限会社　憲心　代表取締役　乗定　憲二 氏
（浅生支店）

●ソーシャルビジネス部門

●株式会社　カムラック　代表取締役　賀村　研 氏
（福岡支店）

●NPO法人　はぁとスペース　代表理事　山本 美也子 氏
（千早支店）

ひびしん同友会

本会は昭和48年1月に発足し、現在38支部1,528名（令和元年6月現在）の会員数をほこり、北九州地区でも有数の親睦団体となっております。各支部や各エリアにおいて懇親会や各種の講演会など活発な活動が行われています。毎年5月には「ひびしん会会長杯争奪ゴルフ大会」が開催され、今年も221名の参加者で大いに盛り上がり、さらに懇親を深めています。
（※写真は団体の部優勝の三ヶ森支店）

ひびしんニューリーダー会

新しい時代の経営環境に適応できる経営者に必要な知識の体得と会員相互の啓発、事業の発展を通じて地域社会に貢献することを目的としています。
当金庫とお取引のある若手経営者で満47歳までの方を対象としています。令和元年6月現在の会員数は86名です。

ひびしんすみれ会・寿会

すみれ会は当金庫と取引のある女性の会です。寿会は当金庫で年金を受け取られている方、またはこれからお受け取りを希望されている方の会です。平成30年度は、ひびしんすみれ会・ひびしん寿会合同企画として、9月に「なし狩り体験とパワースポット高千穂阿蘇内牧温泉の旅」を実施いたしました。

ひびしんイングスクラブ

各種セミナー、ボランティア活動等を通じて会員同士の交流を図り、地域の活性化に貢献することを目的としています。満18歳以上35歳以下で当金庫にお取引を有する企業の従業員の方、または当金庫にお取引のある方が対象です。写真は「愛の募金活動」の様子です。集まった募金は、到津の森公園や社会福祉協議会等に寄付させて頂いています。

お客様セミナー・年金相談会

専門家による無料の「お客様セミナー」を開催しております。平成30年度は「相続と家庭円満な遺言書の書き方」や「空き家対策セミナー」等をテーマに、4回のセミナーを開催いたしました。また、年金受給予定の方を対象に個別の年金相談会（無料）を開催しています。社会保険労務士とアドバイザー数名がご相談に応じます。

恋活イベント

独身の男女に出会いの場を提供する為に「ひびしん恋活パーティー」を開催いたしました。「ボタニカルキャンドル作り」で打ち解け、和やかな雰囲気の中会は盛況のうちに終了。カップルも誕生しました。

地域の行事への参加

北九州を中心とした当金庫の営業エリアには、古くから続く地域行事がたくさんあります。当金庫は地域社会の一員として、地域のお祭りやイベント等の諸行事に積極的に参加しています。

■ 門司みなと祭　5月26日
（令和元年度参加役職員100名）

■ 若松みなと祭り　7月21日
（平成30年度参加役職員100名）

■ わっしょい百万夏まつり　8月5日
（平成30年度参加役職員101名）

ひびしん俳句大賞　12月5日

平成21年7月に創設された「ひびしん俳句大賞」は、現在11回目を数えます。毎回、地域にお住まいの皆さまからたくさんの投句をいただいております。児童・生徒の皆さまからの応募も年々増加しており、今回は過去最高の4,172句の応募をいただきました。

ひびしん俳句大賞受賞作品　一般の部

大賞受賞句

薫風や手話の指さき恋かたる

門司区　大久保　義雄様

ひびしんカップ（少年軟式野球大会）　4月27日

当金庫がスポンサーとなり、ひびしんカップ第41回北九州市スポーツ少年団春季軟式野球大会を開催しました。歴史ある大会に36チームの選手が参加し、熱戦を繰り広げました。スポーツを通じて、明日を担う青少年の育成に貢献しています。

献血活動　6月12日

毎年6月に本店にて「信用金庫の日」の地域奉仕活動として、職員参加による献血を行っています。

信用金庫の日　ひびしん寄席　6月13日

毎年6月15日は「信用金庫」の日として、全国の信用金庫でさまざまなイベントや地域貢献活動を行っています。当金庫では、落語家の桂春蝶師匠や、北九州市立高校ダンス部「N9SD CREW（ノースナインステイツダンスクルー）」を迎え、黒崎ひびしんホールで「信用金庫の日」ひびしん寄席を開催、会場は満員のお客様で大盛況でした。

NETWORK

店舗のご案内

令和元年7月8日現在

■北九州市八幡東区
本店営業部 093-661-2411
荒生田支店 093-651-5633
前田支店 093-671-2965
枝光支店 093-671-5635
中央町支店 093-671-2231
大蔵代理店 ※ 093-651-7731

■北九州市八幡西区
黒崎支店 093-621-2566
折尾支店 093-691-1831
香月支店 093-617-0631
穴生支店 093-631-4535
相生支店 093-631-1061
三ヶ森支店 093-611-0266
町上津役支店 093-611-4455
本城支店 093-603-3161
則松支店 093-691-1851
木屋瀬支店 093-617-0311

■北九州市小倉北区
小倉支店 093-531-4586
到津支店 093-591-0321
三萩野支店 093-922-1111
城野支店 093-931-7535

■北九州市小倉南区
北方支店 093-921-0581
曽根支店 093-471-7600

■北九州市戸畑区
浅生支店 093-882-5221
中原支店 093-882-5271
天籟寺支店 093-882-5261

■北九州市若松区
若松支店 093-761-2031
二島支店 093-791-0331
小石支店 093-771-3911
東二島支店 093-791-2351
高須支店 093-741-0121

■北九州市門司区
門司港支店 093-321-0881
新門司支店 093-481-1425
大里支店 093-381-0761
原町支店 093-381-2334

■中間市
中間支店 093-244-1311

■遠賀郡
おんが支店 093-293-1313

■直方市
直方支店 0949-22-1650
頓野支店 0949-26-0311

■宮若市
若宮支店 0949-52-0038

■鞍手郡
鞍手町支店 0949-42-0013

■行橋市
行橋支店 0930-23-0870

■京都郡
苅田支店 093-436-0735

■豊前市
豊前支店 0979-82-1188

■築上郡
築上町支店 0930-56-0055

■福岡市
福岡支店 092-283-7016
千早支店 092-674-0310

※信用金庫代理業者
ひびしんビジネス・サービス株式会社

店舗外ATM・CDのご案内

令和元年7月8日現在

■北九州市八幡東区
イオンモール八幡東
リバーサイド荒生田
枝光駅前出張所

■北九州市八幡西区
井筒屋黒崎店
サンリブ黒崎店
ゆめマート東折尾店
サンリブ折尾店
サンリブ三ヶ森店
Mr Max本城店
ゆめマート永犬丸店
サンリブ木屋瀬店

■北九州市小倉北区
JR小倉駅
北九州市役所

■北九州市小倉南区
サンリブシティ小倉
北九州空港
サニーサイドモール小倉

■北九州市戸畑区
イオン戸畑店

■北九州市若松区
マルショク深町店
イオン若松店
青葉台出張所
サンリブ高須店
若松区役所
ベイサイドプラザ若松

■中間市
ショッパーズモール中間
中間市役所

■遠賀郡
ゆめタウン遠賀

■直方市
イオンモール直方
JR直方駅
直方市役所

■行橋市
行橋市役所

■京都郡
苅田町役場
平成筑豊鉄道犀川駅前

■豊前市
三毛門出張所
フレスポくぼてんタウン
豊前市役所

■大分県中津市
イオン三光ショッピングセンター

■その他
高速道路古賀SA（上り）
セブン銀行（セブンイレブン）
イオン銀行

◆個人の出資会員の方の当金庫ATM利用時の時間外手数料が無料になりました。

第76期 事業の概況

1．預金・貸出金の状況

預　金

平成30年度は、夏期、冬期のキャンペーンとして、平成29年度に好評であった、懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売し、夏期は125億円、冬期は94億円獲得しましたが、相続等の影響により定期預金残高は前期比14億円の減少となりました。一方、要求性預金残高は102億円、定期積金残高は11億円増加しました。

その結果、期末の預金残高は、前期比99億円増加の6,793億円となりました。

貸出金

平成30年度は、事業性融資と消費者ローンを中心に推進し、手形貸付の残高が27億円、証書貸付の残高が23億円増加するなど、全ての科目で前期と比較して増加しました。事業性融資は、新規での取引先の拡大等により26億円増加、消費性融資は住宅ローンが2億円、消費者ローンが16億円増加し、19億円の増加となりました。

その結果、期末の貸出金残高は、前期比58億円増加の3,437億円になりました。

2．収益の状況

貸出金利息は、利回りの下落幅が鈍化傾向にあること、貸出金期中平残が前期より増加したことにより、前期比29百万円増加致しました。また、預け金利息が6百万円の増加、有価証券利息配当金が267百万円の増加となった事などにより、資金運用収益は前期比348百万円の増加となりました。役務取引等収益は前期比10百万円の減少、その他業務収益は前期比81百万円の増加、その他経常収益は株式等売却益の903百万円増加、金銭の信託運用益の225百万円減少等により、前期比693百万円の増加となりました。

その結果、経常収益については前期比1,113百万円増加の14,196百万円となりました。

費用面においては、資金調達費用が金利上乗せ定期預金の満期の影響等により、前期比125百万円の減少となりました。役務取引等費用はその他の役務取引等費用の増加等により、前期比78百万円増加しました。経費については、人件費が前期の一時金支給の反動減により90百万円の減少となる一方、物件費は固定資産雑費の増加等により101百万円増加し、16百万円の増加となりました。また、株式等売却損が前期比1,547百万円増加、貸倒引当金繰入額と貸出金償却の合計が前期比255百万円の減少となったことなどから、経常費用は前期比1,383百万円増加の12,783百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前期比269百万円減少の1,412百万円、当期純利益は前期比655百万円減少の949百万円となりました。

最近5年間の主要な経営指標の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経常収益（千円）	13,693,841	13,796,323	12,759,575	13,082,972	14,196,339
経常利益（千円）	2,781,910	1,327,275	1,710,470	1,682,601	1,412,812
業務純益（千円）	1,853,169	2,458,162	1,971,601	1,223,488	2,027,304
コア業務純益（千円）	2,048,781	2,087,721	1,283,822	1,198,051	1,557,415
当期純利益（千円）	1,917,612	881,617	1,753,031	1,604,896	949,814
出資総額（百万円）	3,511	3,486	3,479	3,460	3,446
普通出資金（百万円）	2,271	2,246	2,240	2,221	2,207
優先出資金（百万円）	—	—	—	—	—
その他の出資金（百万円）	1,239	1,239	1,239	1,239	1,239
出資総口数（千口）	4,543	4,493	4,480	4,442	4,414
純資産額（百万円）	49,495	49,970	50,121	51,641	49,773
総資産額（百万円）	701,927	712,286	707,005	726,724	734,594
預金積金残高（百万円）	644,178	654,990	651,139	669,424	679,355
貸出金残高（百万円）	319,812	325,167	332,871	337,940	343,758
有価証券残高（百万円）	258,094	279,033	264,096	275,777	275,226
単体自己資本比率（%）	13.55	13.05	12.83	11.86	11.26
出資に対する配当金（出資1口当たり）（円）	20	20	15	15	15
役員数（人）	15	15	15	14	14
うち常勤役員数（人）	11	11	11	10	10
職員数（人）	611	600	587	597	595
会員数（人）	72,471	72,406	72,903	72,955	73,080

（注）「その他の出資金」1,239百万円は、平成15年10月20日に合併した旧直方信用金庫が発行していた優先出資を、平成18年8月31日協同組織金融機関の優先出資に関する法律第15条第1項1号の規定に基づき消却したことにより、優先出資金及び資本準備金からその他の出資金に振り替えたものです。

財務諸表

貸借対照表

（単位：百万円）

科目	平成30年3月31日	平成31年3月31日
（資産の部）		
現金	6,545	6,681
預け金	86,777	82,671
買入金銭債権	6,476	13,010
金銭の信託	2,301	2,023
有価証券	275,777	275,226
貸出金	337,940	343,758
外国為替	235	143
その他資産	4,713	4,847
有形固定資産	8,497	8,397
無形固定資産	104	141
繰延税金資産	—	224
債務保証見返	748	839
貸倒引当金	△ 3,394	△ 3,370
（うち個別貸倒引当金）	（△ 2,233）	（△ 2,423）
資産の部合計	726,724	734,594

（単位：百万円）

科目	平成30年3月31日	平成31年3月31日
（負債の部）		
預金積金	669,424	679,355
借用金	—	—
その他負債	1,873	2,255
賞与引当金	299	313
役員賞与引当金	29	26
退職給付引当金	1,492	1,242
役員退職慰労引当金	175	177
睡眠預金払戻損失引当金	68	73
偶発損失引当金	227	225
繰延税金負債	432	—
再評価に係る繰延税金負債	310	310
債務保証	748	839
負債の部合計	675,082	684,821
（純資産の部）		
出資金	3,460	3,446
利益剰余金	42,084	42,968
処分未済持分	△ 24	△ 19
会員勘定合計	45,520	46,395
その他有価証券評価差額金	5,308	2,564
土地再評価差額金	813	813
評価・換算差額等合計	6,121	3,377
純資産の部合計	51,641	49,773
負債及び純資産の部合計	726,724	734,594

損益計算書

（単位：千円）

科目	平成29年 4月1日から 平成30年 3月31日まで	平成30年 4月1日から 平成31年 3月31日まで
経常収益	13,082,972	14,196,339
資金運用収益	9,125,158	9,473,222
役務取引等収益	1,159,783	1,149,756
その他業務収益	1,003,950	1,085,775
その他経常収益	1,794,079	2,487,585
経常費用	11,400,371	12,783,526
資金調達費用	311,062	185,432
役務取引等費用	991,609	1,069,834
その他業務費用	891,130	824,328
経費	7,858,950	7,875,215
その他経常費用	1,347,617	2,828,714
経常利益	1,682,601	1,412,812
特別利益	5,672	19,755
特別損失	6,911	48,618
税引前当期純利益	1,681,361	1,383,950
法人税、住民税及び事業税	436	29,144
法人税等調整額	76,028	404,991
法人税等合計	76,464	434,136
当期純利益	1,604,896	949,814
繰越金（当期首残高）	8,206,161	4,764,315
土地再評価差額金取崩額	—	—
当期未処分剰余金	9,811,058	5,714,129

単体自己資本比率

（単位：百万円）

項目	平成29年度	平成30年度
普通出資又は非累積永久優先出資に係る会員勘定の額	45,454	46,329
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,388	1,172
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	303	252
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	47,146	47,755
無形固定資産	83	141
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	83	141
自己資本の額((イ)－(ロ))(ハ)	**47,062**	**47,614**
信用リスク・アセットの合計額	378,722	405,122
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	17,902	17,462
リスク・アセット等の合計額(ニ)	**396,624**	**422,585**
単体自己資本比率((ハ)／(ニ))	**11.86%**	**11.26%**

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

〒805-8520 北九州市八幡東区尾倉2-8-1
TEL 093-661-2311（代表）

■ ホームページアドレス
http://www.fukuokahibiki.co.jp/

■ テレホンバンキングサービス
フリーダイヤル 0120-842-506